

水と環境の問題にソリューションを提供し、未来への責任を果たす

重点的に取り組むテーマ	SDGsへの貢献	2030年における あるべき姿、取り組み姿勢	指標	中長期目標		2022年度 実績	評価※1
				事業年度			
基礎テーマ	1. 安全性の高いサービス・製品を提供する	安全、健康、環境に配慮したサービス・製品を開発、提供し、社会からの信頼を維持する。	①新規開発品の安全性評価実施率	100%	2022年度	100%	達成
			②「製品・サービス」に直接関わる従業員の定期安全教育受講率	100%		100%	達成
	2. 公正に事業を行う	自由競争に基づく公正で透明な取引を維持する。また、政治、行政との健全かつ正常な関係を維持する。	コンプライアンス教育対象者の受講率	100%	2022年度	100%	達成
3. 人権を尊重する	人権に関する国際規範を支持・尊重し、国連が定めた「ビジネスと人権に関する指導原則」に基づき、人権尊重の取り組みを推進する。	①人権教育対象者の受講率	100%	2022年度	100%	達成	
		②現場作業に直接関わる従業員の安全教育受講率	100%		100%	達成	
4. 水資源の問題を解決する	すべての人々の生活と、産業の発展に必要な水を、節水・浄化・再利用技術により確保し、それぞれに最適な水質・水量で提供する。	顧客節水貢献量－自社取水量	240百万m ³	2022年度	122百万m ³	未達成※4	
		水資源に関する問題の改善で貢献する人数※2	700百万人	2030年度	67百万人	達成見込み	
5. 持続可能なエネルギー利用を実現する	生活、産業におけるエネルギーの使用を最適化するとともに、エネルギーを創る技術を広く社会に普及させる。	顧客排出CO ₂ 削減貢献量－自社排出CO ₂ 量※3	10千t	2022年度	249千t	達成	
		Scope 1 および2 排出削減※4 (2019年度からの削減割合)	27.5%	2030年度	15.6%	達成見込み	
		Scope 3 排出削減※4 (2019年度からの削減割合)	100%	2050年度			
6. 廃棄物を削減する	廃棄物を資源として活用する技術、廃棄物の発生量を抑制する技術を普及させ、廃棄物ゼロを目指す。	顧客排出産廃削減貢献量－自社排出産廃量	450千t	2022年度	406千t	未達成※5	
7. 産業の生産技術を進歩させる	水のビッグデータを駆使し、産業の生産効率と製品品質のイノベーションに貢献する。	「生産プロセスの改善・改良への貢献」に該当する商品開発テーマの件数割合	35%	2022年度	37%	達成	

※1 当年度の実績に基づく中長期目標の達成度合いを評価しています。

※2 水資源の問題が深刻な流域において、水利用可能量、水質、および水アクセスの面で改善効果享受する人々の数。

※3 自社排出CO₂量には、GHGプロトコルの定義におけるScope1および2に加え、Scope3カテゴリ13に該当する超純水供給事業由来のものを含みます。

※4 顧客節水貢献量が計画策定時の想定よりも下回ったことから未達成となりました。

※5 自社排出産廃量、顧客排出産廃削減貢献量とも想定よりも下回ったことから未達成となりました。